

◆ 令和元年7月九州北部大雨の被災に伴う第34回災害ボランティア活動を令和元年7月27日（土）久留米市東櫛原町において個人住宅の家具などの搬出活動を実施しました。

今回は、筑後信用金庫役職員有志7名で第34回災害ボランティア活動を実施しました。

今月22日に台風5号等の影響から大気の状態が不安定となり大雨に見舞われたものです。久留米市内では、床上浸水196件、床下浸水120件合計316件の家屋被害が出ました。

今回の活動は、市内の個人住宅から畳や家具等の搬出作業を行うものでした。大牟田や三井等の社会福祉協議会の職員を含む約26名が2チームに分かれ、屋内と屋外に分かれての作業です。搬出された家具等は、可燃・不燃の区別をし、パッカー車への投入や宮の陣焼却炉へと運搬されました。

当日は、朝のうち曇り日だったものの徐々に気温が上昇（最高気温36.5度を記録）し、暑い中での作業となりました。

ボランティア活動された皆様や久留米市社会福祉協議会のスタッフの皆様お疲れ様でした。

< 活動状況 >

